

令和3年度 第2回 校長「語らいサロン」資料

校長 川中子登志雄

テーマ 「コロナ禍の影響について」

1 はじめに

自己紹介と、「コロナについて最近感じること」

2 学校の状況 – 「新しい生活様式」で変わったこと

○「密」を避けるようになったため…

- ・集会がなくなった(全校朝礼、児童集会、体育朝会、音楽朝会)
- ・行事がなくなった、縮小になった(運動会、学芸会、音楽会、1年生を迎える会、6年生を送る会、謝恩会、など)
- ・異学年交流がなくなった(児童集会、6年生が1年生のお世話をする、全校遠足等)
- ・授業がふつう通りできない(音楽-歌・笛・鍵盤ハーモニカ etc、家庭科-調理実習、体育-ゲーム活動、対話等交流活動など)

→ 集団生活の中での交流を通して育まれるものがストップしてしまっている！

(5年生のあわの移動教室で感じたこと)

○給食が「黙食」に 学校給食の目標「学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。」

○常時マスク 表情が見えない、会話が聞こえにくい

○教職員の健康 区内学校でも同様の状況

3 家庭での様子は？

○子供たちの様子は？

○保護者の皆様の様子は？



4 オリピック・パラリンピック学校連携観戦

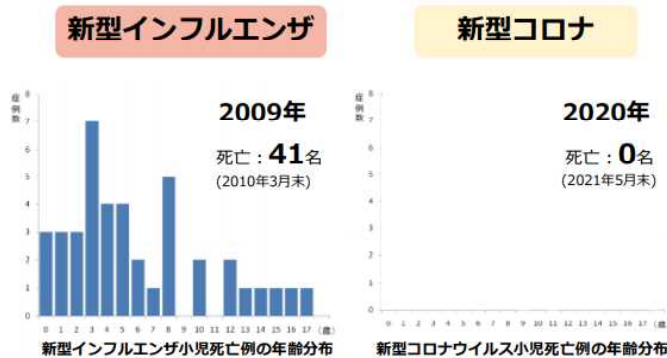
8月28日(土) 2, 3, 5年生 9月2日(木) 1, 4, 6年生

- ・コロナよりも熱中症の方が怖い
- ・曳舟駅まで歩き、東武線、銀座線を使い約300人が移動。
- ・最寄り駅から、観客席に入るまでに1時間30分くらいかかる。



1

わが国における新型コロナウイルス感染症小児死亡者数



子どもたちにとって怖いものとは何か…

引用：新型インフルエンザ小児死亡例の実態調査結果

4

過剰感染対策で子どもたちが背負うリスク

- 事故のリスク**
家庭内では留守番に伴って熱傷、溺水等
屋外でも日中の交通外傷
- 虐待のリスク**
家庭内の精神的負荷が増加し、
虐待のリスクが高まる
- こどもの貧困**
給食・子ども食堂の中止による弊害
- 事件・性のリスク**
大人の目が留かない状況でのこどもの
留守番のリスク、SNSを通じた犯罪
- 精神的負荷**
大人たちの不安、不満、混乱あり
心身症の発症、増悪リスク
- メディアリスク**
SNS、ゲーム、テレビ、インターネット
メディア暴露の増強とその健康被害
- 生活リズムの変調**
運動不足による肥満増加
睡眠不足
- 学習の遅れ**
較差拡大、興味の喪失

7

いま、大人たちがすべきこと

- ・できるかぎり行事を潰さない
- ・専門職が連携して実施する方法を考える
- ・ゼロリスクを求めない
- ・子どもたちのクラスター発生を責めない
- ・子どもたちのデータを蓄積する
- ・できるかぎり子どもたちに自由を

子どもたちの声なき声に耳を

90